

## 大学ポートレート運営会議（第12回）議事要旨

1. 日 時 令和2年1月29日（水） 10:00～12:00

場 所 学術総合センター11階 1112会議室

### 2. 出席者

[委員] 石井委員、香取委員、坂根委員、鈴木委員、長谷川委員、水戸委員、谷地委員、  
中田大学教育質保証・評価センター事務局長（奥野委員代理）、  
松ヶ迫短期大学基準協会事務局長（原田委員代理）

[主査] 小林大学ポートレートステークホルダー・ボード主査

[オブザーバー] 牛尾高等教育局高等教育企画課長、平野高等教育局大学振興課大学改  
革推進室長（以上、文部科学省）

[事務局] 土屋大学ポートレートセンター長、井田大学ポートレートセンター教授、  
佐藤評価事業部長、三田大学ポートレートセンター事務室長  
（以上、大学改革支援・学位授与機構）、  
小瀬私学経営情報センター長（日本私立学校振興・共済事業団）

### 3. 議 題

- (1) 大学ポートレートステークホルダーボード委員および主査の任命について
- (2) 大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について
- (3) 大学ポートレートにおける機能拡充・改修等について
- (4) その他

### 4. 配付資料

- |     |                                               |
|-----|-----------------------------------------------|
| 資料1 | 大学ポートレート運営会議（第11回）議事要旨（案）                     |
| 資料2 | 大学ポートレート運営会議委員名簿                              |
| 資料3 | 大学ポートレートステークホルダー・ボード委員名簿及び令和元年度ヒ<br>アリング有識者名簿 |
| 資料4 | 令和元年度大学ポートレートステークホルダー・ボード 主な意見                |

資料 5	令和元年度大学ポートレートステークホルダー・ボードに関する報告
資料 6	大学ポートレートにおける機能拡充・改修について
資料 7	令和元年度大学ポートレート参加状況
資料 8	大学ポートレート公表画面へのアクセス数について
参考資料 1	改正規則一式
参考資料 2	令和元年度ヒアリング有識者配付資料（千葉委員）
参考資料 3	令和元年度ヒアリング有識者配付資料（鈴木元専門委員）
参考資料 4	教学マネジメント指針（案）（抜粋）
参考資料 5	「法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律」等改正箇所

まず三田事務室長より、参考資料 1 に基づき、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構大学ポートレート運営会議規則等を改正し、新たに機関別認証評価機関として認証された大学教育質保証・評価センターが大学ポートレート運営会議に参加することとなった旨の報告があった。また、奥野武俊委員の推薦団体変更に伴い新たに就任した香取薫委員の紹介があった。

その後、大学ポートレート運営会議（第 11 回）の議事要旨の確認ののち、議題について協議が行われた。主な協議内容は、次のとおり。

（1）大学ポートレートステークホルダーボード委員および主査の任命について

- ・大学ポートレートステークホルダー・ボードの次期委員及び主査の任命について、原案のとおり決定された。

（2）大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について

- ・はじめに、三田事務室長より資料 3 について説明があった。続いて、平野文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長より教学マネジメント指針について情報公表を中心に説明があった。その後、小林大学ポートレートステークホルダー・ボード主査より資料 4 及び資料 5 に基づき、令和元年度大学ポートレートステークホルダー・ボードにおいて委員及び有識者から出された意見について報告があった。また、牛尾文部科学省高等教育局高等教育企画課長より、参考資料 5 について補足説明があった。

<主な意見>

【坂根委員】短期大学の学生に聞いても大学ポートレートを認知しておらず、活用が少ない。元々メインのステークホルダーである保護者や大学進学希望者の活用が少ないのでターゲットを広げてみてはどうかという方向に進もうとしているように見えるが、まずは大学進学希望者が実際に見て役に立つような内容を発信することや、広報の仕方を工夫することを検討してほしい。

【小林主査】ステークホルダー・ボードの千葉委員からも高校の現場で活用されていないという意見が強く出ている。オープンキャンパス、主要大学の説明会、教職員の研修などさまざまな機会をもう少し使って大学ポートレートを広めたほうがよいという提案があった。文部科学省が県の進路指導主事を集めて伝達する際に大学ポートレートを取り上げていただくことでもう少し普及を図ったほうがよいのではないかという意見もあった。

【水戸委員】教学マネジメント指針に関しては、学修者本位の大学教育に変えるために、学修成果の可視化指標について教学マネジメント特別委員会で決定し、その公表を大学に義務づける方向で議論されていると聞いていた。義務化により教育改革が進むことを期待していたが、各大学の任意で公表することとなってしまったため、情報公表がなかなか進まないと思う。義務化されれば大学ポートレートから全大学の学修成果の可視化に関する情報等が見られるようになると思われるが、情報公表の義務化を含めた大学設置基準の改正をいつごろ行うのか教えてほしい。

【平野室長】大学設置基準の見直しを含めた包括的な質保証システムの見直しについては、部会を作って審議することは既に決定している。まずは現状を検証した上で見直しを行わなくてはならないという意味では時間がかかる。新しく設置する大学のみならず既存の大学にも影響が及ぶものでもあり、しっかり時間を使って議論をしていく必要があるため、1年程度で完了することはないと思っている。

【水戸委員】私立大学もできるだけ透明化を進める方向に転換しているが、実際には末端の動きがそれに伴っていないと感じている。

【平野室長】教学マネジメント指針においては、大学が自主的に取り組むという理想的な姿を追求している。もちろん、最終的にどのような形で全体のシステムの中で義務化していくのかについては別途検討が必要である。文部科学省としては、教学マネジメ

ント指針の普及も含めて取組を進める大学が増えるよう努力していきたい。

【水戸委員】 大学教育を質的に転換していこうとするのであれば、情報公表のサイドから切迫感をもって迅速に進めるべきではないかと思う。

【中田事務局長】 「大学が情報をその都度提出するのではなくデータセットが1つあればそれで事足りるのではないか」という思想のもとで情報システムを一元化しようとしたことは、大学ポートレートの大きな意義の一つである。これは大学からも賛同を得たと思うが、構築から一定の年数が経過し、もう少し本格的に取り組んでいくことをステークホルダーからも求められていると感じた。

また、ステークホルダーについては、大学進学希望者や保護者に当初から限定されていたわけではなかった。ステークホルダーをどう考えていくのかについては、大学ポートレートの実施主体が曖昧なところがあるのでその辺りも整理が必要かと思う。あらゆるステークホルダーに対して大量の情報を万遍なく提供することは難しい。各大学がアピールしたいことは各大学のウェブサイトに掲載されており、受験情報については受験産業が整理して提供しているので、大学ポートレートでは都合の悪い情報も大学は公表しているということを社会に示し信頼を得ていくことを目的とするなど、今後は住み分けも考えてもよいかと思う。

【小林主査】 大学ポートレート（仮称）準備委員会では、最初に7つほどのステークホルダーが挙がっていたが、それでは目的が拡散してしまうので大学進学希望者のための情報を中心にする方針を決めてスタートした。ステークホルダーを大学進学希望者のみに限定したわけではないが、実質的には限定されてしまい、そこに必要な情報を載せる形になってきた。例えば研究の情報等は掲載されていない。情報発信は税金を使わず民間に任せればよいという議論は準備委員会開催当時からもあったが、大学ポートレートは国が実施することにより信頼性を保てる。特に国際発信は民間では難しいため、国が実施する意義があるものである。

【坂根委員】 当初の目的の一つに「大学の負担を軽減」という文言があるが、実際の現場では負担が軽減されたのか。

【小瀬私学経営情報センター長】 私学については、以前より基礎調査で収集していた情報の中に、必要に応じて大学ポートレートに掲載する情報を追加する形になっている。基礎調査で幅広く収集した情報を活用して学校法人の経営分析や情報の提供を行っていたので、そういう意味では大学ポートレートにより負担が大きく増えたということ

はない。

【小林主査】私立学校振興・共済事業団は基礎調査で収集した情報を公表しておらず、特に個々の大学に関する情報は一切公表しないということになっている。そのため個別の大学の情報を知るためには自分たちで別に調査をしなければならず、無駄な作業が行われている。基礎調査で収集した基本的な情報が使えるようになれば、調査をする大学等の負担を減らし効率的になるが、今のところまだ実現していない。

#### (3) 大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

- ・三田事務室長より、資料6に基づき大学ポートレートにおける機能拡充・改修について説明があった後、金原事務室長補佐より、学問分野及び取得できる資格に関する項目の検索機能追加についてデモンストレーションが行われた。

#### (4) その他

- ・三田事務室長より、資料7及び資料8に基づき大学ポートレートの参加状況及びアクセス数について報告があった。また、次回運営会議を令和2年6月～8月をめどに開催予定である旨について、報告があった。

#### <主な意見>

【香取委員】大学間連携等を行うに当たって役に立つ情報が大学ポートレートにはあると思う。国公立に関しては、各大学が自分だけで必要とされていることを全て行うというのは意味がないのではないかと思っている。国公立には税金が投入されているため、必要最小限のコストで各大学が協力しあって、地域全体あるいは日本を活性化していく方向になるべきだと考えている。大学ポートレートが大学間でより具体的に利用できるようになることでそれが促進されることを期待している。